

外科系

乳腺科コース

乳腺治療の専門家を養成します

乳腺外科では繊細な術前診断と術後病理診断が求められ、これにより術前術後の適切な薬物療法や放射線治療が決定施行されます。我々は多職種（外科、画像診断、放射線治療科医師、乳腺認定看護師、放射線技師、超音波検査技師、細胞診スクリーナー、薬剤師、外部医師）による各種カンファレンスにより手術症例や薬物療法、進行・再発症例治療などの検討などを行い、乳癌診療の総合力向上を図っています。さらに術前化療による乳房温存率の向上やセンチネルリンパ節生検による腋窩郭清の省略で積極的に手術方法の縮小化を行うとともに、広範な病変に対しては同時再建も行い、整容性と根治性のバランスの取れた、患者さんのメリットとなる治療を心がけております。進行、再発患者の治療については、放射線治療部、骨軟部腫瘍・整形外科および緩和ケア科と協力して集学的治療を行っております。

当コースでは疾患についての知識を深め適切な治療方針を決定し施行できる能力を培うのみならず、病気になった患者さんをあらゆる面からサポートしていけるような乳腺科医の育成を目指しております。そのため外科に限定せず、画像診断部（画像診断、インターベンション）、病理、放射線治療部、緩和ケア科を中心にカリキュラムを設定しております。当センターは日本乳癌学会の研修施設の認定を受けており、資格を有したスタッフがマンモグラフィーや超音波の手技や読影を直接指導しております。

また学会活動や論文作成も積極的に行っており、外科/内科専門医取得後は乳腺認定医・専門医を目指して研鑽を積むことができます。また少人数でさほど規模も大きくないため、質問しやすい、学びやすい環境にあると思います。当センターでの研修は、乳腺疾患に対するスペシャリストを目指すのに非常に充実した環境といえます。

スタッフ

- ◆ 安藤 二郎

- ・日本外科学会外科指導医
 - ・日本乳癌学会乳腺指導医
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィー読影認定医
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構乳がん検診超音波実施・判定医師
- ◆ 竹前 大

- ・日本外科学会外科専門医
 - ・日本乳癌学会乳腺専門医
 - ・臨床遺伝専門医
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィー読影認定医
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構乳がん検診超音波実施・判定医師
- ◆ 豊田 知香

- ・日本外科学会外科専門医
 - ・日本乳癌学会乳腺専門医
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィー読影認定医
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構乳がん検診超音波実施・判定医師

症例数等（2024年度実績）

乳癌手術療法実績	
手術件数	328例 338例
乳房温存手術	108件
センチネルリンパ節生検	265件
同時再建	16例17例

週間スケジュール

	朝	午前	午後	夕方以降
月	回診	病棟業務、病棟カンファレンス、IVR		
火	乳腺カンファレンス、回診	外来検査 (US、MMG)	外来手術、IVR	
水		手術・病棟業務		
木	回診	病棟業務	病棟業務 IVR	グランドカンファレンス
金	乳腺外科抄読会、回診		手術・病棟業務	
土・日			回診など（交代制）	